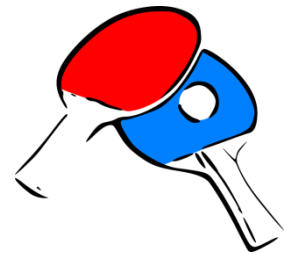




全国障害者スポーツ大会に 今年から精神障害者「卓球競技」



2020年の東京オリンピック・パラリンピックを前にして、今年から全国障害者スポーツ大会に、精神障害者「卓球」が、正式競技として加わることになりました。

全国大会の個人競技参加選手枠として、新たに各県選手団における精神障害者の参加枠を2名(男女1名ずつ)設けることになりました。

沖縄代表として、全国大会に派遣される選考会は、沖縄県障害者スポーツ協会が担当することになります。

また、県内では「第55回沖縄県身体障害者スポーツ大会」の卓球競技(8月24日・土曜日、沖縄県総合運動公園メインアリーナ)に、個人の資格で参加を申し込むことができます。

申込窓口は、県内各福祉事務所で、「卓球競技」の用紙に記入することになります。参加費用の自己負担はありません。

なお、大会プログラムには氏名・障害区分(精神障害)等が掲載されます。

大会当日には、報道機関による撮影、報道がなされる場合があり、主催者においても撮影した写真を広報等に使用します。参加申込みを提出した時点で、各報道やプログラム掲載について了承したものと扱われることとなりますので、ご留意ください。

詳しい問い合わせは、沖縄県身体障害者福祉協会

電話 098-851-3455 (末吉、伊敷)

寄稿

私宅監置跡を視察して

去った3月20日に沖縄県内に現存する私宅監置跡を、山田会長の案内のもとに「あおしすコール」家族会員と、沖縄市基幹センターの皆さんと、現地近くで合流して視察に行きました。私個人としては本当のところ、当初、乗り気ではなかったのです。というのも、自分自身が責められているようで、罰せられているような、複雑な思いで苦しくて……。

何故なら、私どもは当事者である息子が納得しない入院を幾度も重ねてきました。ほとんど本人の同意ではなく、強制的な入院です。何度も、病状の激しさに仕方なく、どうしようもなく、そこで、息子は私達にも、医療にも不信を抱かせたままの今日です。私も医療機関に対しての疑問をもっているのですが、それを書き出すと止まらないのでここではやめます。そういうことがあって、まるで私達が責められているのでは、との思いにところが重いまま行くことに。

現存する場所は古びた母屋のはずれにあり、木造瓦葺きの母屋とは違い、古いのですが、コンクリートブロックで出来ていて朽ちていても鉄製の頑丈そうな扉が横にあり、草木が生い茂り、小さな窓、わずかにあり……、そこで12年も閉じ込められていたのかと……、夏は暑かろうに害虫もいただろうに、冬は寒かろうに……狭い中、暗闇の中ずっと一人で……、「百聞は一見に如かず」本当にあったんだと、今まで知らないふりをして、見ないふりをして、知ろうともせず、ただ反省です。

治安維持の制度に翻弄された家族や当事者の苦しい想いを、やっと知ることが出来ました。「闇から光へ」のテーマの意味するもの、やっと理解できました。

では、現在はどうか？人間として尊厳はあるか？偏見はないか？求めている当たり前の生活が送られているか？

今も私たち親子の間には、ギクシャクとしたなかでの毎日の生活を送る中、時々はため息も出たりしますが、それでも社会において、人として当たり前の生活を送ってほしいと心から願いつつ暮らしています。なぜなら、本当に大切な家族の一員だから……。

私宅監置跡で、もう二度と人としての尊厳をなくすような事があってはならない、絶対に歴史を繰り返してはいけない、私達にできることは何か？と想いを巡らし……。 墓前にて合掌。

沖縄市家族会 おあしすコール

島袋 照美

伊良部島 佐良浜漁港 ハーリー&おーばんまい

ハーリーはそれぞれの地域で特色あるイベントが行われますが、宮古島の伊良部島・佐良浜漁港のハーリーの「おーばんまい」を紹介します。

ハーリー当日の風頃になると、わらわらと港に人が集まりだし、ホラ貝の合図と共に、なんと漁師の皆様が、漁船からカツオの切り身をばらまきます。



港にいる私達は、それぞれザルや箱を頭の上に乗せ、ひたすら空を舞うカツオを追いかける…といった、目を疑う光景が繰り広げられます。もちろん、生のカツオなので、血やらも一緒に飛び散る、ということになります。老若男女、おじいもおばあも、子供も、カツオを追いかけるといふ、衝撃的な光景に初めはびっくりしました。

人間というのは欲深いもので、「私は足が痛いから、見学…」と後ろの方でいた人も、目の前にカツオが飛んでくると、痛い足はどこへやら、カツオめがけて猛ダッシュ。うれしそうに袋に入れていきます。あちこち、頭から洋服までカツオの血だらけになりながら、大量のカツオを手に入れて、帰路に着きます。

午後からは、カツオの料理の開始…生姜と醤油の煮付け、カツオフレークなど、みんなで手分けして作り、おいしくいただいています。

もちろん、今年も皆様のリクエストにお応えして、佐良浜漁港のハーリー&おーばんまいに出かけてきます。



バレーボール競技(精神の部)九州ブロック地区予選会福岡大会 報告

私たち精和病院デイケアソフトバレーチームは、5月19日(日)に福岡県で行われた九州ブロック地区予選会に沖縄県代表として選手9名、引率職員5名で出場して来ました。

沖縄県大会での他チームとの接戦を制し、掴んだ九州大会の切符でしたが、残念ながら体調を崩してしまい九州大会への参加に至らなかったメンバーもいました。しかし、参加を断念したメンバーに対しての当事者間での声かけも大変素晴らしく、改めてピアサポートの持つ力を感じる経験となりました。また今回の九州大会参加に向けて、沖縄県障がい者スポーツ協会様からは指導員を派遣して頂き、技術向上へのご協力をいただいたことに大変感謝しております。

九州大会では、大分県と対戦し第1セットは25-14で相手チームに先取されましたが、第2セットは自分たちのリズムを取り戻すことが出来、22-25で奪取しました。そのまま第3セットも押し切りたかったのですが、相手チームの変則サーブにペースを乱されてしまい、残念ながら25-15と敗れ、善戦空しく一回戦敗退となりました。

しかし、メンバーからは「もっと練習を積んで強くなりたい」「まずは九州で一勝したい」等、早くも次の大会に向けての意欲を感じさせる発言が聞かれ、今回の大会参加が大きな刺激となったとスタッフ一同感じております。

今回の大会派遣については、皆様方からは温かいご支援と多大なるご協力をいただき、本当にありがとうございました。メンバーはもとよりスタッフ一同、心より感謝申し上げます。今後も、メンバーの更なるリカバリーへとつながるデイケアへと発展していけるよう努力を重ねてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



編集後記

とうとう宮古島から海外へ…
香港、韓国線が下地島空港から就航します。香港はバイトだったけど韓国はグルメに美容にと、女子にとっては魅力がいっぱい。海外からの観光客も増えてきていて、宮古島もグローバル化が進みそうです。 AT

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5665

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡市東区馬出 2-2-18

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)